

絶体絶命から始まった 10 分間の逆転ショー！
弱小チームの再建を託された崖っぷち GM。

ド ラ フ ト 会 議

人生を懸けた<究極の心理戦>が今 始まる！

DRAFT DAY

ドラフト・デイ

字幕監修の有馬隼人さん (元アメフト選手/元TBSアナウンサー/現アサヒビール シルバースター コーチ)

映画の舞台となった、アメフトの裏側を熱烈トーク！！

1月23日(金)『ドラフト・デイ』トークイベント実施のご報告

この度、弱小アメリカンフットボールのチーム再建を託された、崖っぷちGM(ゼネラルマネージャー)の人生をかけた“究極の心理戦”<ドラフト会議>を描いた痛快駆け引きエンターテインメント作『ドラフト・デイ』が、1月30日(金)より全国公開致します！本作は、世界で最も成功し、市場規模約1兆円といわれる“世界一のスポーツ”アメリカンフットボールの、NFL(ナショナルフットボールリーグ)の一大イベント“ドラフト会議”を舞台に、有能な新人選手獲得に奮闘するチームのGM(ゼネラルマネージャー)たちが、情報、駆け引き、ハッタリを駆使し、手に汗握る選手争奪戦を繰り広げます！主人公を演じるのは、主演作『ラストミッション』の他、『マン・オブ・スティール』、『エージェント:ライオン』と、13~14年にかけ出演作が立て続けに公開されているケヴィン・コスナー！監督は、『ゴーストバスターズ』シリーズのコメディの帝王アイヴァン・ライトマン！サニーを公私共に支える女性に『ダラス・パイヤーズクラブ』のジェニファー・ガーナー、母親役に『インターステラー』のエレン・バースティンが出演！さらに、脚本ハリウッド業界人が秀逸な脚本を選出する“ブラックリスト2012”で、NO.1に輝いたお墨付きです！

本日1月23日、本作の字幕監修を担当した、有馬隼人さんがトークイベントを行いました。大学時代にアメフト選手として活躍し、卒業後TBSにアナウンサーとして入社。その後、再びアメフト選手に復帰、現在はアサヒビール シルバースターのコーチを務めている有馬さんが、“世界一のスポーツ”アメフトの華やかさ、日本人の概念を覆す「NFLドラフト会議」でのGMたちによる駆け引き、探り合いの面白さ、実際にアメフトの世界に従事する有馬さんだから語る事の出来るアメフト・NFLの裏側について等、熱く、そして深くトークを繰り広げました！

【日時】 1月23日(金)

【場所】 よみうりホール(千代田区有楽町 1-11-1 読売会館 7F)

【登壇者】有馬隼人さん MC:上田万由子さん

本作の字幕監修も務めた、有馬隼人さんが本作の魅力と、アメリカンフットボールのドラフト会議について、解説してくださいました！

MC.字幕監修されたとお聞きしましたが、いかがでしたか？

有馬「アメリカンフットボールについて知らない方も、たくさんいらっしゃるの、言葉をかみ砕いたり、専門用語を聞きなれた言葉に置き換えたりしました。逆に、アメリカンフットボールが好きなお方にも納得していただけるように監修させていただきました」

MC.はじめに『ドラフト・デイ』をご覧になった感想をお聞かせください。

有馬「最初は、字幕の監修を考えながらだったので、楽しむ余裕がないかなと思っていたのですが、チェックしながらでも十分スリルと迫力を感じることができました。サニー(ケヴィン・コスナー)が、最後、必殺仕事人のように、クライマックスをつくっていく姿にドキドキさせられましたし、こんなGMがいたら頼もしいなと思いました。そして予想がつかない展開と、まさかの逆転劇で十二分に楽しめました。」

MC.世界一のスポーツリーグであるNFLですが、市場規模はなんと1兆円！日本の野球が1,500億円、アメリカのメジャーリーグの5,000億円に比べると驚異の市場規模！！NFL人気の理由は为什么呢？

有馬「毎年どのチームが勝つかわからないような状態が生まれる設定がされていて、Jリーグなど、いろいろなスポーツがNFLをお手本につくっているんです。野球は、年間何百試合と行いますが、NFLは16試合しか行わないんです。試合の数が10分の1しかないんですよ。」

そのためNFLは、試合数は少ないのに、選手の数がほかのスポーツに比べて圧倒的に多いので、放映権料が40億円や50億円など、破格なんです。たとえば、アメリカのMBAは1億から2億、日本の野球は1000万円をきる試合もあるくらいなんですが、日本の試合の何百倍もの価値が一試合にあるんです。その中でも特に、ドラフト会議が人気ですね。ウェーバー制といって、前シーズンに最下位だったチームが、翌シーズンで一番目の指名権をもらえるんです。毎年、アメリカ中のファンが一巡目に誰を指名するかというのを楽しみにしているんです。これが、チームの力を均等にさせる一番の要因となっているんです。日本のドラフトは、くじ引きをしますが、アメフトのドラフトは指名したら決定なんです。指名時間10分間の間に誰か1人を指名しなくてははいけないんです。逆指名がないので、指名されたら他チームにとられてしまい、いい選手が残っていても、うちのチームにはそのポジションに良い選手がいるし、と刻一刻と状況が変わっていくんです。あと、指名権のトレードがあります。たとえば、スター選手がほしいので、来シーズンの指名権と引き換えに、今年度のあなたのチームの指名権をくださいといった交渉もあるんです。ドラフト会議中にもそれが行われていて、10分間の間にもトレードが行われているんです。もらった指名権をやっぱり戻すとか、現役の選手もつけるからというトレードの仕方もあるんですよ。」

MC.ファンの人もさまざまな楽しみ方ができますね！

有馬「そうなんです。パブリックビューイングでみたり、バーやTVで見たりとドラフト自体がショーのようになっていて、ドラフト会議はアメフトの開幕戦なんて言われることもあるんですよ！日本のスポーツからは考えられないですよね。」

MC 劇中では緊迫した1日がリアルに表現されていますが、

有馬「正直、ドラフトを初めて見る方についてはいけないんじゃないかっていうくらいのスピードで、作品が展開されていきます。まるで、展開の早いスポーツを見ているみたいなので、目を凝らしながらじっくり見ていただければと思います。字幕も、専門用語とかも噛み砕きながら書いたつもりです。」

MC.リアルといえば、今回は本当のドラフト会場を使って撮影されたそうですね。

有馬「そうなんです。ラジオシティミュージックホールというニューヨークにある歴史の深い有名なホールで、撮影されています。しかも、本物のコミッショナーやOB、解説者、監督などがでてくるんです。ただ、演技がうますぎて俳優さんと区別がつかないんですよ！（笑）コミッショナーの陰い表情とかセリフとか本当にリアルなんです。チーム名、会場名も本物を使っていますし、その分、リアル感が出たんだと思います。」

MC.老若男女問わず、注目されるNFLは、スポーツの力があるのだと感じました。

有馬「そうですね。どこが勝つかわからない、去年最下位だったチームが今年は優勝争いをしたり、32チームのファンはとても楽しみにしていると思います。サラリーキャップという制度があって、チームの合計年俸の上限が決まっているので、日本のように、給料の高い選手、良い選手ばかりをチームに集めることができないんです。ものすごく公平なんです。リーグの放映権も、リーグが全部まとめて、各チームに均等に配分するんです。グッズの売り上げもまとめて管理しているので、人気のあるチームだけが儲かるようになっていないんです。各チームが平等だからこそ、来年どうなるかわからないという点が人気の秘訣なんだと思います。」

MC.最後に『ドラフト・デイ』の魅力を教えてください！

有馬「主人公のサニーが、敏腕で仕事もできるんですが、女性に弱く、振り回されるんですよ（笑）その人間模様が見どころの一つだと思います。家族愛や、仲間との強い結びつき、スポーツを取り巻くすべての要素、人間が真剣に何かをやるときに何か生まれる要素がふんだんに使われていると思います。ただ、ドラフト会議の話ではなく、人間の想いとかがたくさん詰まっている作品だと思います。」

日本では馴染みがないアメリカンフットボールのドラフト会議。有馬さんの丁寧で熱意あるご説明によって、会場のお客様も知らない世界を分かりやすく解説いただき、満足感いっぱいの中にイベントは幕を閉じました！

<STORY>

アメリカンフットボールのプロリーグNFLに所属するクレーブランド・ブラウンズのGM、サニーは、人生の崖っぷちに立たされていた。チームの運営と強化を一手に担う彼は、最近のふがいない成績に責任を感じ、今年こそは地元ファンの期待に応えたいと願っている。そのためには12時間後に迫ったドラフト会議で、超大物ルーキーを獲得することが必要不可欠だった。ところがライバルチームのGMに苦しい事情を見透かされ、チームの未来を売り渡す無謀なトレード話に応じてしまう。容赦ないプレッシャーの中で孤立し、キャリア最大の危機に見舞われたサニーは、ドラフトで誰を指名するのか。彼の人生のすべてを懸けた決断は、全米を揺るがす大波乱を呼び起こす…！

出演：ケヴィン・コスナー、ジェニファー・ガーナー、デニス・リアリー、フランク・ランジェラ、エレン・バーズティン

脚本：ラジーヴ・ジョセフ、スコット・ロスマン 監督：アイヴァン・ライトマン『ゴーストバスターズ』シリーズ

2014年/アメリカ/カラー/111分/シネスコ/5.1ch/原題：DRAFT DAY/日本語字幕：石田泰子/字幕監修：有馬隼人/G/配給：

キノフィルムズ © 2014 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.



1月30日(金) TOHOシネマズ日本橋ほか全国ロードショー！